**平和統一運動次世代リーダー育成のための**

**「私から始まる平和統一大賞」青年スピーチ部門及びエッセイ応募原稿フォーマット**

**■「私から始まる平和統一大賞」とは**

　朝鮮戦争によって分断された朝鮮半島と在日コリアン。先人たちが夢にまで見た「統一」はいつ来るのでしょうか？　最近の国家情勢で考えると問題があまりにも大きく見えて、何から手を付けて良いのか、わからなくなってしまうことはありませんか。しかし、皆さんが「心の壁」を乗り越えた小さな体験が、何かしら在日同胞の和合に役に立った事はなかったでしょうか？

　’為に生きる’神様主義の真の愛を根本精神として国籍と思想、組織を超越して、国内外の韓民族の和合と統一の実現を目指す平和統一聯合は、この度、皆様の「心の壁」を乗り越えた経験を、同世代や後に続いていく世代の力とするために、創設20周年記念企画としてこの賞を創設いたしました。

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 | 「私から始まる平和統一大賞」青年スピーチ部門、会員及び一般部門　エッセイ募集 |
| 募集テーマ | 「私の心の壁を越えて始まった平和統一の経験」・自分の置かれている環境でぶつかった「心の壁」、なぜそれが「壁」であったか、どのようにして乗り越えたか、そのきっかけや周りからの言葉、勉強になったと思う自分の経験、そしてそれが在日同胞の和合、朝鮮半島の平和統一にどのように発展していく可能性があるかをスピーチ、または記述。 |
| 応募条件 | 平和統一聯合に所属している会員、担当者。または左記から紹介を受けた方。 |
| 募集期間 | 青年スピーチ部門：2024年６月16日（日）まで地方予選会員及び一般部門　エッセイ募集：2024年４月１日（月）～2024年６月17日（月） |
| スピーチ原稿規程 | 【青年スピーチ部門】　５分以上７分以内（制限時間を超過した場合は減点）。※パワーポイント使用可。【会員及び一般部門　エッセイ募集】800字以上3000字以内、１人１点。※両部門とも主となる言語を日本語で行うこと。部分的に韓国・朝鮮語、または他国の言語を使用しても良いが、日本語の意味を付け加えること。 |
| 応募方法 | Wordファイルのまま、応募フォームよりご応募ください。※ 青年スピーチ部門に応募の方も、同様に原稿を提出してください。 郵送、FAXでのご応募はご遠慮いただいております。 |
| 発表 | 2024年6月下旬　ホームページにて公開入賞者には、メールまたはお電話にて直接ご連絡をさしあげます。青年スピーチ部門の大賞受賞者は、７月４日東京都内の記念行事でスピーチします。その交通費は本部負担。 |

**題名：私から始まる平和統一**

**お名前：岡野園子**

(下記より本文をご記入ください)

私は、日本人の父と韓国人の母の両親の元に生まれました。そして、韓国人の親戚と一年くらい一緒に住む事があったり、また当時大学生時代のバイト先の店長が在日コリアンの方で、韓国人の方と接する機会が多くありました。

私は、韓国人の母の元で育ったので、韓国の文化などは少しわかりますが、韓国語はあまり出来なくて、在日コリアンの方や韓国の親戚の方と言葉の壁を感じることが多くありました。それは言葉が通じない事が苦しいという以上に、仲良くなりたいのになれないもどかしさや心を通わせられない苦しさを感じました。

そんな私に転機がありました。韓国に住む親戚の所に遊びに行った時の事でした。いとこが「アナタと話すために日本語を勉強したの」と言われた時に、仲良くしようという気持ちがすごく伝わってとても嬉しかったし、実際に日本語で会話をすることを通して心が通じ合う喜びを感じました。そのような経験から私も韓国語を勉強し、親戚の方々ともっと仲良くなりたいなと思い、韓国の勉強を始めました。

最初は韓国語の発音や文法などが難しくて勉強する事に葛藤していましたが、本を使って韓国人の母に教えて貰う事で少しずつ理解できるようになりました。韓国語で日常会話を話せるようになるまで、正直今も続いていますが、少しでも上達できるように日々頑張っています。韓国語を話せるようになるための努力は私にとって大変でしたが、苦痛とは感じませんでした。むしろ「韓国語を話せるようになって、いとこや在日コリアンの方と心が通じることの出来るようになりたい」と意欲的に取り組むことが出来ました。

そして、韓国語を話せるようになった事で、自分の言葉で自分の気持ちを伝えることが出来る喜びを感じたり、趣味や旅行などの楽しさも深く感じる事ができました。

このような経験を通して、「私には出来ない」「私は苦手だ」というように心に壁を作ってしまうのではなく、壁を越えて一つになっていきたい、喜びを分かち合っていきたいと一歩踏み出す努力が大切だと学びました。韓国と日本は国境の壁、文化の壁、言語の壁がありますが、私の心の壁を越えることが韓日が一つになっていく道だと感じました。これからも韓国と日本が壁を越えて一つになる時を願いながら、私の心の壁を越えていけるように努力していきたいと思います。